

# 校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年9月9日 NO.18

## 校長室前の模様替え

国立第七小学校児童の科学や自然に対する興味・関心を高める前に、1学期に引き続き、再び校長室の前に様々なものを展示することにしました。休み時間や登下校の折に、児童が気軽に立ち寄り、楽しめるスペースにしたいと考えています。

今学期から、科学や自然に関する児童向けの本や、高学年ならば何とか読めるのではないかと思われる書籍もいくつか用意いたしました。もちろん低学年児童にもすぐに読めて親しめるものも多数あります。子ども達が校長室前で、あれこれと本を広げては楽しく読めるように、かわいく暖かみのある校長先生お手製のサクラの切り株椅子もあります。低学年から高学年まで、みんなで大いに利用してもらいたいと思います。貸し出しについては、現在検討中ですが、きまりを作り大人も子どもも自由に読めるようにしたいと考えています。

また、今、校庭や学校周辺で花を咲かせているものを継続的に展示していこうと思います。マークがあるので、一つ一つめくってみて、自分でどのくらい植物の名前を知っているか、チャレンジしてみることも楽しいことでしょう。

なお、夏休み中に理科室にて今から30数年前に勤務していたであろう「ある先生」（誰だか名前はわかりません）の標本が発見されました。外国のチョウも多く含まれており、かなりのコレクターだったのではないかと思います。

模様替えをした校長室の前で、子ども達が、わいわいがやがやと楽しくおしゃべりして、科学や自然に対して興味や関心を高めてほしいと願っています。

## 雑草取り大作戦

わくわくドキドキ農園で、1・2年生が春に植えたサツマイモの苗がたくさんの葉を茂らせています。よく見ると、道路の方までその葉を伸ばしています。一枚一枚のサツマイモの葉は、太陽の光をいっぱい浴びて、地中ではきっと大きな「おいも」がたくさんできていることでしょう。

しかし、サツマイモの葉に負けないくらいの雑草もたくさん生えています。そこで、1・2年生で「もっともっと大きくなーれ！サツマイモ救出作戦！」プロジェクトを行うことにしました。各クラスを二つの部隊に分けて、雑草取りです。中には自分の背丈よりも大きくなっている草もあり、手強い相手ではありますが、1・2年生で力を合わせてサツマイモの葉がもっと太陽によく当たるように救出します。

「うわあ！すごい雑草！」と始めはいやがっていた子ども達も、そのうち、サツマイモ防衛軍として、正義の味方の自覚も芽生えたのでしょうか、とても一生懸命に雑草を抜いている姿に心から感心しました。

来月には、甘みたっぷり美味しいほこほこのサツマイモを食べることができることでしょう。それまで、もう少し、太陽と水と大地に頑張ってもらおうことにしましょう。

